

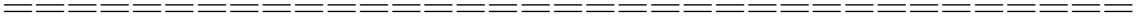


電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG)
 ニュースレター (2020 年度 No.3)
<http://www.hcg-ieice.org/archives/newsletters/>



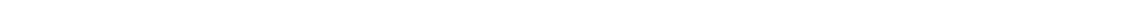
～ 目次 ～

- ◆HC 賞授賞のご報告
- ◆HCG シンポジウム 2020 開催のご報告
- ◆2021 年総合大会開催のご案内
- ◆FIT2021(第 20 回情報科学フォーラム) 投稿のご案内
- ◆IEICE Trans. on Information & Systems:
 英文誌 D ヒューマンコミュニケーション IV 小特集論文募集のご案内
- ◆研究会活動紹介 (MVE)



HC 賞授賞のご報告

庶務幹事
 福田一帆 (工学院大)



令和 2 年度ヒューマンコミュニケーション(HC)賞授賞式が、令和 2 年 12 月 16 日(水)に HCG シンポジウム 2020 のオンライン懇親会会場において開催され、受賞者に賞状と副賞のクリスタル盾が贈呈されました。

HC 賞は、過去 1 年間に開催されたヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)の第一種研究会(HCS, HIP, MVE, WIT)における技術研究報告を対象とし、各研究専門委員会に設置された選考委員会の厳正なる審査の下に選出されます。受賞件数は対象期間の発表 25 件につき 1 件、以降 50 件ごとに 1 件を基準としており、HCG が授与する賞の中で最も権威の高い賞となります。本年は次の 5 件の発表が HC 賞を受賞されました。

1. 「人口密度および経済状況と人々の生活史戦略 ―WEB 調査を用いた分析―」(HCS2019-69)
2. 「保育士同士の効果的なコミュニケーション」(HCS2019-53)
3. 「能動・受動自己運動時の身体近傍空間」(HIP2019-85)
4. 「不動産間取り図から主観的に感じる魅力度と間取り要素の関連解析」(MVE2019-13)
5. 「盲ろう者のコミュニケーションを支援するフット・インタフェース ～語句伝達の了解度を高める触覚刺激提示時間の検討～」(WIT2019-42)

いずれもコミュニケーションにおける課題に取り組んだ魅力的な研究であり、研究視点、手法、結果の新規性、独自性および有効性、各分野への発展性や応用可能性などの観点から高く評価されました。

受賞一覧は下記 URL よりご覧いただけます。各発表の技術研究報告もぜひあわせてご覧ください。

<https://www.hcg-ieice.org/archives/hc-awards>

HCG シンポジウム 2020 開催のご報告

企画幹事
蔵田武志（産総研）

今年度で 18 回目を迎えた HCG シンポジウム 2020（副題：共生社会をささえるヒューマンコミュニケーション）が 2020 年 12 月 15 日（火）～ 2020 年 12 月 17 日（木）の日程で開催されました。コロナ禍の収束が不確定な状況であったため、初のオンラインでの開催となり、発表者数や参加者数が予測できない中、今年度の発表件数は、71 件（口頭発表とインタラクティブ発表：56 件、インタラクティブ発表のみ：15 件）、参加者数は 174 名と、例年よりも 2～3 割減で開催することができました。ご発表、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

今年度も三日間のインタラクティブセッションそれぞれに対して、参加者の投票により決定されるインタラクティブ発表賞（最優秀・優秀・学生優秀）が贈られました。受賞者一覧がウェブサイトに掲載されておりますので、ご覧ください。

<https://www.hcg-ieice.org/hcg-symposium/2020/>

招待講演には、「リアルワールド・アクセシビリティへの挑戦」というタイトルで日本アイ・ビー・エム株式会社東京基礎研究所の高木 啓伸様に講演をいただき、視覚障害者向け屋内ナビや AI スーツケースに関する取り組みについてご紹介いただきました。2017 年度より始まったチュートリアル講演では、心理学×工学・情報科学（2017）、心理統計学×工学・情報科学（2018）、心理学×工学・情報科学（2019）に続き、デザイン x 工学・情報科学ということで、武蔵野美術大学の北崎 允子先生に「Research through Design がもたらす知」というタイトルで講演をいただき、リサーチとデザインとの関係、Research through Design の具体事例などについてご紹介いただきました。

また、あるテーマに関係する発表者を集めた特集テーマセッションでは、ソーシャル・インタラクティブ、食メディア、ロケーション・インフォマティクス、視覚障害者支援と人間拡張、仮想非現実世界を利用した認知の拡張のそれぞれをテーマにしたセッションが生まれ、優秀な発表に対して、特集テーマセッション賞が贈られました。

今回は、インタラクティブセッションと懇親会において、oVice というバーチャル空間を利用しました。新しいサービスであることから枯れていないところもありましたが、通常の遠隔会議サービスと比較し、実際のインタラクティブセッションや懇親会に近いコミュニケーション体験ができたというご意見を多くいただきました。また、セッション後のディスカッションを継続できるようにしたり、資料を気軽に共有できるようにするために Slack のワークスペースを利用し、積極的な書き込みをいただきました。

次回の HCG シンポジウム 2021 は、2021 年 12 月 15 日（水）～2021 年 12 月 17 日（金）の日程で開催される予定です。コロナ禍の収束がまだ見通せない状況ですが、香川県高松市のサンポートホール高松での開催、今回同様のオンライン開催、それらのハイブリッド開催で検討を進めております。みなさまのご参加をお待ちしています。

=====

2021年総合大会開催のご案内

企画幹事
瀬古俊一 (NTT)

2021年電子情報通信学会総合大会の開催をお知らせいたします。今年はオンラインにて開催されます。

会期：2021年3月9日(火)～12日(金)
会場：オンライン

最新情報につきましては下記をご覧ください。

HP：<https://www.ieice-taikai.jp/2021general/jpn/>

電子情報通信学会では、春に総合大会、秋にソサイエティ大会を開催しております。総合大会はヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)を含む5ソサイエティ1グループが一堂に会して開催されます。今年の総合大会では、3月11日(木)に、プレナリーセッションが開催されます。本セッションでは、まず、「3度目のニューノーマルに向けた、電子情報通信学会における活性化・改革への取り組み」と題して、電子情報通信学会会長の笹瀬巖氏による講演の後、学術奨励賞授賞式・教育功労賞授賞式・フェロー称号贈呈式がおこなわれます。また、本セッション後半では、東京工業大学工学院教授の阪口啓氏による講演「超スマート社会を牽引する人材をどの様に育成するか?～スマートモビリティ教育研究フィールドを例に～」、並びに東京工業大学教授の高安美佐子氏による講演「ビッグデータに基づく社会・経済の科学とその応用」を聴講することができます。

総合大会では例年、一般セッションの他にも多数の企画セッションが開催され、今大会においても43件の企画セッションが提案されておりますので、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

=====

FIT2021(第20回情報科学フォーラム)投稿のご案内

企画幹事
瀬古俊一 (NTT)

本フォーラムは、IPJSJ全国大会とISSソサイエティ大会の流れを汲むものですが、従来の大会の形式にとらわれずに新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流などを実現しながら、2002年から毎年継続して開催しております。

前回大会では、初めてとなるオンライン開催でありましたが、非常に多くの方がご参加くださり、活発な議論を交わすことができました。また、好評を頂いていた「トップコンファレンスセッション」も実施されました。各分野でのトップレベルの国際会議・学術雑誌に最近数年以内に採録された論文の著者にその内容を紹介して頂く特別なセッションで、3日間7セッション計41件の発表をしていただきました。

FIT2021(第20回情報科学フォーラム)は、東北学院大学(オンライン)で開催予

定となっております。皆様の研究成果発表の場として、論文発表を募集致しますので奮ってご応募ください。

会期：2020年8月25日(水)～27日(金)
会場：東北学院大学（オンライン）

開催形態に関しましては今後変更の可能性がありますので、最新の情報は下記のURLをご参照ください。

HP：<https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2021/>

=====

IEICE Trans. on Information & Systems:

英文誌 D ヒューマンコミュニケーション IV 小特集論文募集のご案内
HC 特集号編集委員長
小森政嗣（阪電通大）

毎年ヒューマンコミュニケーショングループ（HCG）では特集号を発刊してきました。次回の「ヒューマンコミュニケーション」特集号は、英文論文誌 IEICE Transactions on Information and Systems で企画いたします（インパクトファクターが付きます）。英文論文誌 D はオープンアクセスジャーナル化されており、みなさまの日頃の研究成果を国際的に広く発信する絶好の機会となります。また、英文誌であるものの、著者の方がご希望される場合は、査読は日本語で対応をすることも可能です。是非とも積極的に投稿を御検討ください。

■ スケジュール

- ・ 投稿期限 2021年4月16日（金）（厳守）
- ・ 論文発行 2022年3月号

■ 対象分野

ヒューマンコミュニケーショングループ（HCG）に関連したすべての分野を対象とします。

■ 投稿方法

電子情報通信学会論文投稿システムを用いて「IEICE Transactions on Information and Systems」の「Human Communication」へ電子投稿してください。日本語での査読を希望される場合は、投稿時にWebフォームのコメント入力欄「[9] Any further inquiries and comments to the IEICE Publishing Office」に「日本語での査読希望」とご記入ください。詳しい投稿方法についてはCFPをご覧ください。

CFP：https://www.ieice.org/eng/s_issue/cfp/2022_3ED_2.pdf

■ 特集号編集委員会

委員長 小森政嗣（大阪電気通信大学）
副委員長 寺田和憲（岐阜大学）
幹事 新井田統（KDDI 総合研究所）、高嶋和毅（東北大学）、
安藤英由樹（大阪芸術大学）、道満恵介（中京大学）
委員 永井岳大（東京工業大学）、酒向慎司（名古屋工業大学）、
藤田和之（東北大学）、塩野目剛亮（帝京大学）、
坂井田瑠衣（国立情報学研究所）、川崎 真弘（筑波大学）、
小川 浩平（名古屋大学）、大本 義正（静岡大学）、

平山 高嗣 (名古屋大学), 川本 一彦 (千葉大学)

■ 問い合わせ先

小森政嗣 (大阪電気通信大学) komori@osakac.ac.jp

=====

研究会活動紹介 (MVE 研究会)

MVE 運営委員長
井原雅行 (NTT)

メディアエクスペリエンス・バーチャル環境基礎研究会 (MVE) では、メディアを利用した新体験の創出、および、今そこにはない環境を創り出す VR やヒューマンインタフェース等の技術に関連する発表、議論の場を提供しています。

コロナ禍で会議や授業がオンラインで行われる中、オンラインメディアやその利用体験に対する注目も増加しています。MVE では、2020 年 9 月の研究会のテーマを「オンラインメディアの魅力」と掲げ、三つの企画セッションを実施しました。「企画 1 : オンライン講義の課題を洗い出す」では、実験演習科目から筆記試験までコロナ禍で試行されたオンライン講義の 8 事例を紹介し、GoogleDocs の共同編集を活用することで、参加者が気軽に議論に参加でき、洗い出された課題をまとめて持ち帰れるようにしました。魅力工学研究会と合同で実施した「企画 2 : 魅力・感性を伝えるオンライン・コミュニケーション」では、魅力・感性伝達に造詣が深い講演者をお招きし、コロナ時代のオンライン・コミュニケーションのあり方を議論しました。「企画 3 : 魅力的なオンラインメディアに向けて」では、CSCW の著名研究者とオンラインワークショップの実践家をお招きし、講義の受講者や会議参加者の体験を豊かにするためのオンラインメディアの在り方について議論しました。これらのセッションでは、Twitter や Facebook による広報活動を強化したこともあり、普段、研究会にご参加されていない方にもご参加頂け、盛会のうちに終えることができました。

MVE では、メディア利用体験に積極的に着目し、議論することを心がけています。技術自体の新規性だけでなく、その技術がサービスとして利用者に提供されたときにどんな価値をもたらすのかを問うことで、研究成果が少しでも社会実装につながることを期待しています。技術の利用者に共感し、その技術によって解かれる課題や利用者に届ける価値を定義し、適切な評価、改良を行うことを重視するデザイン思考の考え方も積極的に支持し、技術ありきではないデザイン寄りの研究発表も歓迎しています。

MVE では、ショート発表枠があり、原稿枚数も 2 枚と執筆が容易となるよう設定しています。研究速報やアイデア段階の発表に積極的にご活用下さい。また、若手研究者の発表を促進すべく、萌芽セッションも設定していますので、学生の学会デビュー等にご活用下さい。その他、MVE 賞表彰制度、専門家によるメンタリング制度もありますので、是非、積極的なご投稿をお待ちしております。

MVE 研究会ウェブサイト :
<https://www.ieice.org/~mve/>

問い合わせメールアドレス :
mve-kanji@mail.ieice.org

=====

ヒューマンコミュニケーショングループ研究会・関連行事について、
詳しくは HCG ホームページ <http://www.hcg-ieice.org/>をご覧ください。

□■□
電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ
Copyright (c) 2020 IEICE, All Rights Reserved.
□■□

☆e-mailによる情報配信を必要としない方は、その旨 henkou@ieice.org まで
会員番号，氏名をご連絡ください。処理に 1ヶ月程度かかりますので，入れ
違いに，再度情報配信された場合は，ご容赦ください。
(ご連絡いただいた場合は本会，登録ソサイエティ，グループ，支部，からの
全ての情報配信が止まりますので，情報配信を再度希望される時も，その旨，
henkou@ieice.org までご連絡下さい。)

ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice
(社) 電子情報通信学会 サービス事業部
TEL:03-3433-6691 FAX:03-3433-6659